

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### **新** 学校給食費無償化事業 2億2,723万円

(担当：教育総務課総務係)

子育て世帯における教育費の負担軽減を図るため、市内に住所を有し、市立学校（小学校・中学校・義務教育学校）に通学する児童生徒の給食費を無償化します。

また、市内に住所を有し、特別支援学校に通学する児童生徒や地理的条件等の特別な事情により、市立学校に通学困難な児童生徒の保護者に学校給食費補助金を交付します。

【補助金】児童生徒1人当たりの上限額

小学生(小学部) 5万円

中学生(中学部) 6万円

#### **新** 地域子ども・子育て支援事業(栗原モデル)

612万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

発達障害や愛着障害の早期発見、早期介入を行い、将来的に心配される不登校や引きこもりの未然防止に取り組みます。

#### **新** 妊産婦健康診査通院支援事業

1,067万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊産婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査（14回）及び産婦健康診査（2回）通院費用の助成を行います。

#### **新** 結婚新生活支援事業 900万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

夫婦ともに39歳以下の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う新生活の初期費用（民間賃貸住宅家賃、引越費用等）を助成します。

〔補助上限額〕

① 夫婦ともに29歳以下の場合は60万円

② ①以外の場合は30万円

財源	県の負担額	600万円
	市の負担額	300万円

#### **新** 若柳放課後児童クラブ整備事業

2,348万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

旧若柳よしの幼稚園園舎を若柳放課後児童クラブとして利用するため、改修工事を行います。



改修する旧若柳よしの幼稚園園舎

財源	国の負担額	719万円
	県の負担額	719万円
	市の負担額	910万円

#### **新** 幸せを運ぶ こうのとりに応援事業

300万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けている夫婦等の経済的負担を軽減するため、保険適用後の自己負担額について、1治療過程5万円を上限に助成します。

財源	県の負担額	60万円
	市の負担額	240万円

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### すこやか子育て支援金支給事業

2,000万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出産祝金と小学校入学時に入学祝金を支給します。

■出生祝金	第1子、2子、3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
■入学祝金	第3子以降	10万円

財源	市の負担額	2,000万円
	(うち市債〔借入額〕)	1,300万円

#### 赤ちゃん用品支給事業(スマイル子育てサポート券)

1,407万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の推進と子育て家庭における経済負担の軽減を図るため、1歳未満児の保護者に対し、1か月あたり5千円の育児用品の購入助成券を交付します。

#### 地域子育て支援センター運営事業

8,224万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

小学校入学前の乳幼児を対象に、保護者と乳幼児が一緒に利用するセンターです。子育ての悩みを保育士に相談したり、保護者同士のコミュニティの場所として市内10か所利用できます。

財源	国の負担額	2,520万円
	県の負担額	2,520万円
	市の負担額	3,184万円

#### 母子保健健康診査事業 3,786万円

(担当：健康推進課保健指導係)

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てが出来るよう、妊婦健康診査等の各種健診の助成を行うほか、子どもの健やかな成長発達の確認・相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行います。また、出生後入院中に行う新生児聴覚検査費用の助成を行います。



3歳児健康診査 視力検査(屈折検査)

財源	県の負担額	72万円
	市の負担額	3,714万円

#### 子育て応援医療費助成事業

2億1,196万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

0歳から18歳までの適正な受診機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額を全額助成します。

財源	県の負担額	3,076万円
	宝くじ助成金	1,300万円
	市の負担額	1億6,820万円
	(うち市債〔借入額〕)	1億3,140万円

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### 特別保育事業（一時、延長）2, 180万円 （担当：子育て支援課保育サービス係）

保護者の多様なニーズに対応するため、特別保育を実施します。

##### 一時保育

保護者の一時的または緊急等の理由により、家庭で保育できない場合に、市内9か所の保育施設で一時的にお子さんを預かる事業を実施します。

##### 延長保育

保護者の勤務形態の多様化に対応するため、保育施設に入所中のお子さんを対象に、時間を延長して保育を実施します。

午前7時から午前7時30分まで  
午後6時30分から午後7時まで

財源	国の負担額	620万円
	県の負担額	620万円
	利用額の負担額	160万円
	市の負担額	780万円

#### 幼稚園預かり保育事業

1億4, 513万円  
（担当：学校教育課学務係）

保護者の就労や出産などの理由により、幼稚園の教育時間外や土曜日においても保育が必要な園児を対象として、預かり保育を実施します。

財源	国の負担額	5, 880万円
	県の負担額	4, 288万円
	他市町・利用者の負担額	27万円
	市の負担額	4, 318万円

#### 放課後児童健全育成事業

（放課後児童クラブ）2億4, 536万円  
（担当：社会教育課生涯学習係）

就労等により昼間保護者が家にいない児童（小学生）を対象に、安心して過ごせる生活や遊びの場を提供し、児童の健全な育成を図るため、市内全域で放課後児童クラブを実施します。

財源	国・県の負担額	1億3, 852万円
	利用者の負担額	3, 473万円
	市の負担額	7, 211万円

### (2) 次代を担うたくましい子どもを育成します



#### 少人数学級推進事業 1億189万円 （担当：学校教育課学務係、教育総務課教育環境係）

自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性を育むため、小学校及び義務教育学校前期課程での25人学級を実施します。

財源	市の負担額	1億189万円
	（うち市債[借入金]	5, 000万円)

#### 幼稚園給食費無償化事業 153万円 （担当：学校教育課学務係）

市内に居住する子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、栗原市立幼稚園に通園する全ての幼児の給食費を無償にします。

また、他市町村立幼稚園や私立幼稚園、私立認定こども園等に通園する幼児についても、給食費相当分を幼稚園等に補助することで保護者負担を無償にします。

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (3) 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を

#### 目指します



#### 新 若柳小学校校舎大規模改修工事

1, 181万円

(担当：教育総務課教育環境係)

より良い教育環境の確保を図るため、老朽化の著しい若柳小学校校舎の大規模改修工事に伴い、実施設計を行います。

#### 【改修スケジュール】

- ・令和5年度：実施設計
- ・令和6年度～令和7年度：改修工事

財源 市の負担額 1, 181万円  
(うち市債【借入金】1, 120万円)



改修工事を予定している若柳小学校

#### 学校給食センター改修等事業

6, 019万円

(担当：教育総務課総務係)

安全でおいしい学校給食を安定して提供できるよう、老朽化が進む南部学校給食センターのボイラーなどの設備の改修工事や調理器具の更新を行います。

財源 市の負担額 6, 019万円  
(うち市債【借入金】6, 010万円)



設備改修等を予定している南部学校給食センター

#### 学校教育支援室活用事業

2, 000万円

(担当：学校教育課指導係)

不登校傾向にある児童生徒への初期対応や不登校にある児童生徒への自立支援を、学校及び学校教育支援室、適応指導教室(けやき教室)並びに子どもの心のケアハウスを活用し、学校復帰に向けた支援を行います。

#### スクールバス運行事業

6億6, 563万円

(担当：学校教育課学務係)

すべての園児及び遠距離通学となる児童生徒に対する通園・通学支援と安全確保を図るため、スクールバスを運行します。

財源 国の負担額 458万円  
市の負担額 6億6, 105万円